

不法投棄防止パトロールを連続実施

和歌山循環協 2市町で計3380kgの廃棄物を撤去

(一社)和歌山県産業資源循環協会(須磨徳裕会長)は、10月24日

に同県かつらぎ町内、

10月31日に同県田辺市

内で、「不法投棄防止

巡回パトロール」を実

施した。同協会の収集

運搬部会において、各

市町内でパトロールを

行い、不法投棄物を発

見した場合は可能な範

囲で撤去。協会員や行

政関係者が参加し、両

日で合計約3380キ

ロの廃棄物を撤去し

た。10月24日は25人が参

加。かつらぎ町役場に

集合した後、同町内の

道路沿いや空き地、斜

面等で廃棄物を収集。

解散後にエコライフ紀

北に撤去廃棄物を搬入

する流れで巡回パトロ

ールを行った。冷蔵庫

やスレート、ソファ、

タイヤ、瓦、PETボ

トル、空き缶・瓶、木

くず、金属くず、ガラ

スくず、その他可燃ご

みなど、計2620キ

ロの廃棄物が集まつ

た。10月31日は28人が参

加。啓発パトロールも

行いつつ、田辺市中方

呂・みなべ町清川の2

カ所でごみを集め、田

辺市ごみ処理場に搬入

した。タイヤ40本や冷

蔵庫、テレビ、エレキ

ギター、車のバンパー、

波板、廃プラ、木くず、

金属くず、空き缶、P

ETボトル、その他一

般ごみなど、計760キ

ロの廃棄物を撤去し

たという。この取り組

みは、和歌山県の条例に基

づく



作業のようす



タイヤなど多くの廃棄物を撤去

「わかやまごみゼロ活

動」として認定されて

いる。環境保全活動な

ど地域社会への貢献事

業に継続して取り組

み、業界の認知度向上

につなげている。同協

会は、「地域の環境保

全に貢献するため、今

後も継続的に巡回パ

トロールを実施する予

定だ」としている。